

R5年KPI実績・R6年アクションプラン進捗管理

R7.2.21 第2回観光立市推進会議

■資料3 R5年の観光入込客数等の状況<Topics>

【年間観光入込客数】

R5年5月に、新型コロナウイルスが5類移行となり、コロナの感染拡大前（R1年）の9割弱水準まで回復。うち、宿泊客数はR1年比約94.4%まで、日帰り客数は同比約84.0%までそれぞれ回復した。

【年間観光消費額】

宿泊施設の高付加価値化（客室単価の向上）や物価上昇等により、R1年比約123.6%とコロナ禍前を大きく上回った。うち、宿泊の消費額は74億1,870万円で同比約148.3%。一方、日帰りの消費額は14億4,300万円で同比約66.6%の水準にとどまっている。

【宿泊者数平準化率】

令和5年度 平準化率	人泊数（人）	閑散期				繁忙期			
		4月	6月	9月	10月	8月	11月	12月	1月
		3,681	3,288	3,584	4,087	10,119	6,757	5,563	5,049
	①					②			
	人泊数計（人）	14,640				27,488			
	平準化率（①/②） <td colspan="4"></td> <td colspan="4">※R9年の目標値（50.0%）を達成</td>					※R9年の目標値（50.0%）を達成			
		53.3%							
(国内大手OTA宿泊実績データを基に算出)									

◆年間観光入込客数（単位：万人）			
	R1年	R5年	比較
宿 泊	36	34	94.4%
日帰り	175	147	84.0%
（京都府観光入込客調査報告書）			

◆年間観光消費額（単位：百万円）			
	R1年	R5年	比較
宿 泊	5,002	7,419	148.3%
日帰り	2,168	1,443	66.6%
（京都府観光入込客調査報告書）			



■資料5 R6年度アクションプロジェクト進捗管理<総括>

「第4次京丹後市観光振興計画」の計画期間の2年目に入り、特に観光関係の会議等において、同計画の周知を図ってきたこともあり、全アクションプロジェクトにおいて取組が進んだ。R7年度は、大阪・関西万博を契機に、「ヘルスツーリズム」や「世界長寿サミット」「美食都市」などの取組を通じて、国内外の旅行者の需要を確実に取り込みながら、「観光立市の実現」という共通の目標に向かって、それぞれの主体が引き続き一体となって取り組んでいく必要がある。